

## 特別研究部門

小野幸子、平澤則子、高林知佳子、岡村典子、西田絵美、市川克巳、丸山紀子

### I 本部門の事業目的

県内の保健医療看護上の課題に対応した研究課題を設定して取組み、一般市民の健康の保持・増進や看護職の質的向上の推進の一助として貢献することである。

### II 2019年度の事業の概要

今年度は、看護研究交流センターが行う県内看護職の生涯学習の一端を担う学習支援事業について、県内全域の看護職を対象に要望調査をし、今後の在り方を検討するための基礎資料を得ることとした。

本センターの過去18年間の看護職学習支援事業は、県内全域の保健医療福祉施設、行政機関、看護学教育機関などにパンフレットの郵送、新聞および大学のHPなどを通じて広報し、公開講座開催直後にその都度、参加者による評価と要望を調査して次年度の企画に反映させてきた。その結果、各年とも概ね肯定的評価を受けてきている。しかし、参加者が上越地域とその周辺地域の看護職に限定されている現状にある。

そこで、県立看護大学の看護研究交流センターとして、これまで実践してきた看護職学習支援事業を紹介するとともに、県内全域の看護職のための学習支援事業として機能するよう、その在り方も含めた要望調査をし、それに即した企画・運営にする必要があると考えた。

現在、調査を開始したところであり、2020年度上半期には結果を出す予定である。2020年度は、本学各看護学専門領域の教員を対象に、捉えている県内の保健医療施設・行政機関・看護学教育機関の看護職における看護実践上の課題とその取組みの現状、及び本センターの看護職学習支援事業への要望やあり方などについて調査し、今年度の調査結果と合わせて検討して、より適切な看護学習支援事業を目指す。